

歯科医療現場が危ない



おおの小児矯正歯科 歯科衛生士

末 永 靖 子

■ 略歴

平成 6 年 3 月 西南女学院短期大学英語科卒業
平成 9 年 3 月 福岡県立九州歯科大学附属歯科衛生学院卒業
平成 9 年 4 月 下関市：（医）おおの小児矯正歯科勤務

子どもに関する衝撃的な事件が多発し、子どもを取り巻く環境は枚挙に暇がないほど問題が山積しています。特に、心の問題がとりあげられています。これら、子どもにみられるすべての状況は現在の子ども達が将来日本社会を構成することから、未来からのよからぬメッセージであると考えられます。

医療の現場も同様で、心の健康が課題となっています。また、我々の従事している子どもの歯科医療においても歯科恐怖症（医療恐怖症）、指しゃぶりおよび自臭症など、これまであまり経験しなかった症例の増加がみられるようになりました。

しかしながら、子どもの歯科領域において、心の問題についてどのように対応したらよいか、明確なものはありません。

そこで今回、歯科医療で直面する子どもの心の問題について当医院で経験した症例を通して、その具体的対応について述べたいと思います。